

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修等を通じて、事業理念の周知に取り組んでいる。年度ごとに理念に基づいた事業所目標を設定し、実践に努めている。朝の申し送り前に理念を唱和している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に相談を受けているわけではないが、併設事業所の利用者や家族からの相談を受けている。また、認知症サポーター講座の開催を通じて地域への啓発に努めている。	電話相談や直接見学に来られる方もいてその都度相談を受けている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価の目的、概要を開催年度の初め、直近の会議、評価後の会議にて説明している。意見やアドバイスがあった際は、その後の経過を次の会議で報告している。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市主催の認知症サポーター講座の開催への協力や運営推進会議を通して地域包括支援センターや高齢者福祉課の担当者と連携をとっている。	市の研修等にも参加させていただいています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内部研修において事例を通して話し合う機会を作っている。また、身体拘束委員会にて定期的に話し合い、全職員に周知している。また、家族にも契約時に説明をして理解を得るようにしている。		A. 充分にできている：7 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書類もそろっており、十分できているともいます。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で高齢者虐待防止法について学ぶ機会を設け、グループワークを通して具体的な事例を話し合っている。朝・夕の申し送りにおいて話す機会を設けている。		A. 充分にできている：7 B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法定研修としてできていると思います。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は研修に定期的に参加し、制度の理解に努めている。職員については制度の理解は十ではない。現在、制度利用の可能性がある方はおらず後見制度について相談に乗る機会がない。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に書面にて十分に説明している改正による利用料の変更等があった場合はその都度説明の書類を送付し同意を頂いている。入院時には、今後の事(看取りや退居等)についてその都度説明をしている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの更新時期には家族に個別に伺っている。運営推進会議や懇談会の時などにも伺っている。法人に苦情担当窓口を設置している。また、法人の新聞に相談窓口の利用についてのお知らせを掲載している。事業所内にも相談窓口について掲示している。		A. 充分にできている B. ほぼできている:7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	便り等も活用しご家族にお知らせをしている。運営推進会議を通して相談やご意見を頂いている。 かかりつけ医はみんな違うのですか？⇒ほとんど沖 Dr をお願いしています。専門医が必要な方や馴染みのかかりつけ医を継続して受診している方もいます。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や代理の者を通して意見、提案を聞く機会を持っている。必要に応じて直接話をする機会を持っている。定期的に個別面接を行い、意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度を導入し、職員の育成、職場環境や条件の整備に取り組んでいる。公休日の希望を聞き入れ勤務表に反映させ、法定以上の有給を付与している。介護休暇や慶弔の際の特別休暇の取得などの環境も整えている。職員交流のため職員旅行を開催している。ストレスチェックを定期的に行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の処遇改善加算の届を出しており、そのキャリアパス要件も十分にクリアしている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で新人職員～3年間計画的に研修を行っている。また、法人で准看、介護福祉士や認知症ケア専門士等の資格取得を推進している。		A. 充分にできている B. ほぼできている:7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	BCP の取り組みと一緒に研修や講習を受けている。

				各職員にそれぞれ目標を設定し、日常業務の中で目標の達成に向けて取り組んでいる。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	保健・医療・福祉の合同勉強会（オレンジネット宇和島）への参加や地域包括ケア推進の為、行政との連携をしている。コロナの鎮静化に伴い、各ネットワークへの参加ができるようになってきた。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事の準備や片付け、掃除、その他雑務と一緒にやっている。自分でできることはやってもらっている。手助けしてくれる入居者と必要とする入居者を同じ机に配置し交流ができるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居前にご本人の人間関係の概要を伺っている。その後、家族や知人、本人から話を伺っている。合同でレクを行ったり、買い物に行ったりしている。移動販売がある時は一緒に要望を伺い好きな物を購入している。定期的に便り（生活風景の写真）を送付している。	かかりつけ医はみんな違うのですか？⇒ほとんど沖 Dr にお願いしています。専門医が必要な方や馴染みのかかりつけ医を継続して受診している方もいます。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コミュニケーションを通して、伺ったことを経過記録、ケース記録に入力し、職員間で情報を共有し、本人の意向の把握に努めている。本人をよく知る人（家族等）にも意向を伺っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一堂に会して話し合う機会はほとんど持っていない。面会時、電話や手紙にて近況報告やご要望については伺うようにしている。把握した情報やモニタリングをもとに検討している。本人の状態に変化が生じた場合	看取りを行う際の契約について聞きたい。⇒入居時の契約の際説明をしています。その時が来た際はかかりつけ医の説明をご家族と一緒に聞き、同意書の署名して頂いている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている: 7 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	市で終活（ACP）の啓発に取り組んでいます。事前に相談しておくことで負担軽減もでき、いざという時に余裕をもって対応できると思います。

				は、随時本人、家族等、その他関係者等に相談し、現状に即した新たな計画を作成している。			
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、電子カルテになり、タブレットから直近 1 か月の情報がすぐに確認できるようになっている。申し送りノートも活用し職員間での情報共有に努めている。ケアチェック表に日々の記録を記入し 1 か月ごとにモニタリングしている。モニタリングも参考にしながら次回のプランを作成している。		A. 充分にできている B. ほぼできている: 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の助教を把握するのはたいへんじゃないですか？ ⇒チェックシートに24時間の排泄状況を記録しています。その後、タブレットに入力しています。便秘予防のため牛乳やヤクルトなどを提供している方もいます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院の支援等も含め、本人や家族、地域の状況に合わせて支援している。必要に応じて訪問看護サービスの支援や家族を支えるための申請書の支援をしている。	夜間の看取り対応ができるかかりつけ医への依頼や施設での生活を希望する方への訪問看護サービスの支援等を行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握はおおむねできている。法人内の事業所と連携し、地域との繋がりが切れないような支援に努めているが、現在はあまりできていない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望や疾患に合わせて専門医の受診を支援している。ご家族から看取りの意向が出た際などはかかりつけ医と連携し終末期の生活が施設で継続できるように調整している。 臨時受診した時や処方箋の変更があった場合には家族に連絡している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居中の様子や入院に至った経過、本人の ADL を担当病棟の看護師に申し送っている。退院までの概ねの予定や予後について地域連携室を通して確認している。家族には		A. 充分にできている B. ほぼできている: 7 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者さんの状態(排泄、薬)を把握するのはたいへんではないですか？⇒チェック表はタブレット、申し送りノートで状態の共有を行っています。

				居室の待機期間についてもその都度説明している。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時に書面にて説明をしている。また、病状の進行や変化の段階ごとに本人・家族に意向を確認し、必要に応じて、かかりつけ医からの説明も一緒に聞いている。医療的処置や急変時の連絡方法、不測の事態があることについても家族に十分に説明し、理解を得ている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている:7 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昨年度は5名の方を、施設でお見送りをしました。家族の理解や協力を得ながら看取りを行っています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	急変時の対応マニュアルを作成し職員への周知をしている。また、法人の緊急時対応の研修に参加し、心肺蘇生、AEDの使用法について学ぶ機会を設けているが定期的な研修、訓練はできていない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	法人全体で何度もBCP計画策定の会議を持ちBCP計画を作成し職員に周知している。訓練計画を策定し実施予定である。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている:7 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	具体的にどんなBCP訓練を行いましたか？ ⇒通常の避難訓練、感染や災害時の対応の講義。グループワークを行いました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	人権や尊厳については法人全体の研修や外部研修等の参加において学んでいる。職員は、人前であからさまな介護や誘導の声かけをしないよう注意し、さりげない言葉かけや対応に努めている。特に、排泄時や入浴時には、不安や羞恥心、プライバシー等に配慮ながら介助を行っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている:5 ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、そ	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	コミュニケーションを通して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。利用者が日々の暮らしの場面で自己決定する機会を			

		の日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		つくっている。(おやつ、移動販売での物品購入、学習療法等)			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の準備や片付け、簡単な調理は入居者の方と行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は楽しみの一つです。できる時は手伝ってもらっています。嚥下状態に合わせて食事形態を変更します。また、好きな物をご家族にも持ってきてもらっています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、水分量のチェック表を基に、接種料が少ない時には個々の好きな物や提供している。また、高カロリーゼリーや水分補給用の飲料、ゼリー等も常備し、個々の状態に合わせて提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の委員会で定期的に話し合いを持っている。定期的に往診してもらっている。また、マウスウォッシュや口腔ティッシュ等を使用し、入居者の認知症の程度に応じたケアをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入れ歯の人は多いですか？⇒ほとんど入れ歯か歯のない人もいます。うがいや口腔ケアを嫌がる人もいるのでその人に合わせて対応を変えています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄状況をタブレットに入力し、排泄(排便、排尿間隔)の24時間パターンを把握している。それに基づき、トイレ誘導や尿取りパッドの種類を選択している。牛乳やヤクルト、ヨーグルト、野菜ジュース等、を提供し便秘予防に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人みるのは大変ですね？⇒チェック表を活用して排泄パターンの把握に努めています。便秘予防にヤクルトや牛乳を提供しています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく、入居者の生活習慣に合わせて曜日や時間を決めていますが、すべて希望通りにはできていない。通院や往診、散髪や外出の際はその都度対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や本人と相談しながら眠剤を使用しないようにしている。本人の身体状況に応じて、昼寝の時間を取るなどして工夫している。また、夜間のオムツ交換が必要な方などは夜間			

				用パッドを使用し、睡眠を妨げないようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方変更や追加処方があった際は、職員間で申し送りをして、必要に応じてバイタルチェックを行い、症状の変化の把握に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さん薬を飲んでいるのですか？⇒全員の薬を管理しています。病院から処方された薬を各職員で仕分けをします。間違いが起きないように一人が一度に仕分けをしないようにしています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の生活歴や習慣、ADL の状態に合わせて、掃除や、配膳準備等の手伝いをお願いしている。移動販売がある際は一緒に買いに行くこともある。また、買い物に行くこともある。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力を得ながら、外出や外泊の支援を行っている。 また、ドライブレクなども行っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿ってお金の所持方法や使い方については家族と話し合い、管理をしている。毎月、ご家族に現金使用明細を送付している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿って、電話やはがき、等でのやり取りを支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間等、居室で過ごす際は安全にトイレに行けるように椅子を配置している。共有の空間は季節に合わせて飾り付けをしている。生ごみや排泄ゴミについては、その都度個別で封をすることで匂いや虫の発生を抑えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用の空間を安全に過ごして頂く為の工夫は、自身で安全にトイレに行って頂けるようにベッドから手すりの間に椅子を配置するなど動線を確保しています。 季節感を味わって頂けるよう、毎月「壁画」を作成しています。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションを通じて伺ったことを職員間で情報を共有し、意向に沿った暮らしができるように努めている。コミュニケーションが困難な方については家族からも意向を聞き、状態に合わせたケアの提供に努めている。しかし、共同生活におけるスケジュールに沿った暮らしが中心となっているように思う。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前のアセスメントご本人やご家族から伺った生活歴や習慣を基に計画書の作成を行っている。併設のデイサービス利用から入居に至った方については利用時の情報も共有している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、排泄、水分摂取、睡眠等 24 時間記入をして状況の把握に努めている。また、ケアチェックにて毎日のケアの情報も共有し支援に活かしている。その情報をかかりつけ医や往診に来る歯科医に伝えて連携に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は健康面や医療面など理解していないのではないか？⇒理解されていない方もいますが、本人のサポートを提供しています。職員間でケアの情報を共有して、状況の把握を行い、場合によっては家族に相談し支援しています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね共同生活のスケジュールに沿って生活をしているが、買い物や散歩、個室での読書など、できる限り自分のペースで生活していただけるよう配慮している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に身近な物（写真、ご位牌、冷蔵庫、こたつ、テレビ等）は自由に持ち込んでもらっている。主に生活していた空間があまり変わらないようにご家族		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	動物（ペット）を飼ってみてはどうか？⇒以前は飼っていた事もありましたが、動物の世話を業務に入れたり、苦手な職員もいるので、又機会がありましたら検討したいと思います。今度、自宅の犬を GH に連れて行っても良いか？⇒散歩のときにでも寄ってもらえれば喜ぶ方もいるかもしれません。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域祭や買い物等コロナ禍によりほとんどできていなかったが5類後は外出、外泊もできるようになってきた。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の有する力に応じて、掃除や洗濯、配膳の準備、畑の手伝い、雑務の手伝い等を職員とともにやっている。			
47		本人は、自分がいいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お互いの会話(回想)から新たな生活歴や趣味嗜好を伺うこともある。毛糸編みや習字などできる事を行い、役割をもって生活できるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている:5 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所して環境の変化にすぐ慣れるものなんですか?⇒時間のかかる方もいますが、傾聴し説明する事で納得されています。時期がくればまた不安になる様子で、環境の変化に慣れるのは波があるようです。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、地域行事への参加が全くできなかった。近くへの買い物や移動販売での買い物など少しずつ交流の場に行くことができている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で地域との十分な交流はできていない。GH 内での生活で職員とのかかわりの中、笑顔で過ごされている。近隣の家族や知人は窓越しでの会話や様子を見ることで少しは安心できていると思う。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない:5 D. ほとんどできていない	秋祭り(10/14)には参加しないのか?⇒コロナ禍で以前のように行事参加ができていませんが今年は様子を見て是非参加したいと考えています。